

応募方法

実施要領や募集用紙などをHPよりダウンロードし、書面形式で郵送・持参にてご応募下さい。

<https://www.city.yatsushiro.lg.jp/kiji00317018/>



応募先

石工の郷八代プロジェクト 事務局（八代市日本遺産活用協議会）
〒866-8601 八代市松江城町1-25 八代市経済文化交流部文化振興課
TEL:0965-33-4533（八代市文化振興課 担当：西山、久保）

プロジェクトに関する お問い合わせ

石工の郷八代プロジェクト 事務局 委託事業者
TEL:092-739-6080（イデアパートナーズ株式会社 担当：今井）

事業説明会開催

石工の郷プロジェクトを活用し、「新しい事業プランを作りたい!」と、そんな意欲ある地域の皆さんが、応募前に断念したり、挫折したりすることがないように、申請前の相談会を開催します。

第1回

7月9日(火)
19:00~20:00

第2回

7月10日(水)
14:00~15:00

【会場】お祭りてんでん館 会議室①
八代市西松江城町1-47

◎ 相談会に出席できなくても応募することはできます

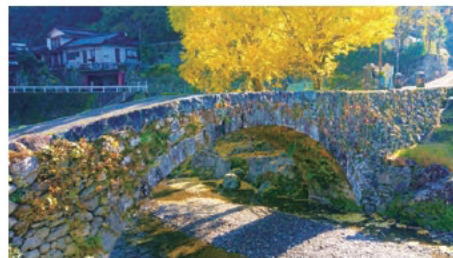
「石工の郷 八代」とは？

かつて全国で築かれた「めがね橋」を今も多く見ることが出来る熊本。それらの多くは、八代で生まれ育った石工たちによって手掛けられました。

彼らの卓越した手腕は日本各地で必要とされ、「神田筋違橋(萬世橋)」や「通潤橋」などの架設を成功に導き、全国に名声を轟かせるまでに至りました。それ故に、八代は、多くの「名石工」を輩出した「石工の郷」と呼ばれています。

石工たちは、八代に広大な平野と豊かな実りをもたらした「干拓事業」や、地域の交通を支えた「めがね橋」の架設などに携わり、八代の発展と人々の生活基盤づくりに長きにわたって貢献する中で、己の技を磨き上げ、名もなき石工から名石工へと成長していきました。

彼らが築いた堅牢な干拓樋門、川面に美しいアーチを描くめがね橋、見事な棚田の石垣などの



石造りのレガシーは百余年たった今も、まちの景観や人々の暮らしの中に生き続けています。

そうした八代各地に残る石造りの文化に関する構成文化財25件を物語として紡いだ「八代を創造(たがや)した石工たちの軌跡～石工の郷に息づく石造りのレガシー」が、令和2年6月19日に日本遺産として認定されました。



「日本遺産(Japan Heritage)」とは、日本各地のそれぞれの歴史的魅惑や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものとして、平成27年度に事業が開始され、計104件が認定されています。ストーリーを語る上で欠かせない魅力あふれる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

